



大地鳴動の記憶 奥越の巨大岩塊

大野市^{さかだに}阪谷地区、勝山市^{おおやだに}大矢谷周辺

なんとも奇妙な光景、田圃に大きな岩がごろごろしている。大野・勝山にはこのような岩塊が数多く転がっている。



阪谷地区に見られる巨大岩塊

大野市の^{さかだに}阪谷地区には、田んぼの真ん中や河川のほとりなどに巨大な岩塊をみることができます。この岩塊は、地元では「伏石」とよばれており、数万年前に地震や地殻変動などの影響で^{きょうがたけ}経ヶ岳（標高 1,625m）が山体崩壊し、その破片が巨大ブロックとなり流れてきたものと考えられています。

この^{きょうがたけ}経ヶ岳は、大野市と勝山市の境に位置し、山頂付近には巨大岩塊の発生源と考えられる^{きょうがたけ}滑落崖があり、山体崩壊の歴史を物語っています。



あちこちに見られる巨大岩塊（阪谷地区）^{①②}



経ヶ岳の^{きょうがたけ}滑落崖^③

勝山市^{おおやだに}平泉寺町大矢谷にも、白山神社のお社に覆いかぶさるかのよう、大きくそびえる巨大な岩塊があります。ここ以外にも様々な大きさの岩塊が観察できる場所がいくつも見られ、中には名前がついているものもあります。



勝山市にある大矢谷の白山神社^④



城、町並み、朝市、風情漂う城下町 大野

大野市寺町、元町、明倫町など

時がゆっくり流れるまち並みに素朴で人情味ある人々が暮らしている。歴史と緑が息づく落ち着きのある景観を今も守り続けている。



寺町



七間通りの朝市

大野市街地は、碁盤目状に整備された城下町です。かつて織田信長の家臣 金森長近が越前大野城を築き、城下町を武家屋敷や町人屋敷、寺町などに区分けして整備しました。400年余りを経た今でもそのまち並みが残る歴史と情緒あふれる町となっています。

市街地の東端を走る寺町通りは、中世から近世にかけての寺院が整然と建ち並び、落ち着いた情緒を醸し出しています。

また、市街地のほぼ中央に位置する七間通りは旧美濃街道の一部であり、当時の町家風情が色濃く残っています。七間通りの朝市は城下町ができて以来、400年以上の歴史があり、春分の日から大晦日まで毎朝開催され、近郊の農家の人たちが新鮮な野菜や山菜などを路上に所狭しと並べています。



越前大野城から見下ろす城下町



結ステーションから見る越前大野城



越前大野城

越前おおの結ステーションは、まちなか観光や商店街での買い物をはじめ、大野市の魅力を体感する出発駅となる場所です。中央に位置するシンボルモニュメントの時鐘は、大野市を訪れる人々のランドマークとなっています。

毎年、旧盆に行われる伝統行事「てらまち万灯会」は、約700メートルの石畳に無数の灯籠が並び、幽玄な美しさで通りを彩ります。



てらまち万灯会（寺町通り）

越前大野城のふもとには、大野藩の財政再建に大きな功績を残した家老、内山良休・隆佐兄弟を輩出した武家屋敷旧内山家があります。2人の偉業をしのぶため、解体復元し保存したものです。



武家屋敷旧内山家





イトヨが生息する 名水の里 大野

大野市泉町、糸魚町など

湧水が豊富で水がきれいな清流にしかすめないイトヨは大野市民の誇りだという。まちのいたるところで湧く清水は城下町とともに代々守り伝えられてきた生活文化である。



本願清水 イトヨ生息地（国天然記念物）①

広大な森林を持つ大野市は湧き水の宝庫であり、まちの至るところで清水を目にすることができます。なかでも大野市糸魚町にある本願清水は、名水のまち大野をつくり上げた原点であり、かつて、伏流した地下水があちこちで顔を出していたことから、この地を一段深く掘り下げて、町用水の水源地として整備したのが本願清水の始まりと伝えられています。また、この本願清水は全国でも数ヶ所にしかない陸封型イトヨの生息地で、国の天然記念物に指定されています。



こんこんと湧き出る本願清水



イトヨ



整備された背割水路②

また、かつて城下町をつくる際に生活用水路と排水路の整備を行ったことから、大野のまちには、背割水路など水のある風景を見ることができます。

大野市泉町にある御清水は、「名水百選」にも選ばれている湧水です。かつては城や武家屋敷の生活用水として使われていたことから「殿様清水」とも呼ばれています。水場は住民の社交の場にもなっています。

戦国武将朝倉義景の墓所一帯も湧水地となっており、隣接する義景公園には義景清水があります。



御清水③



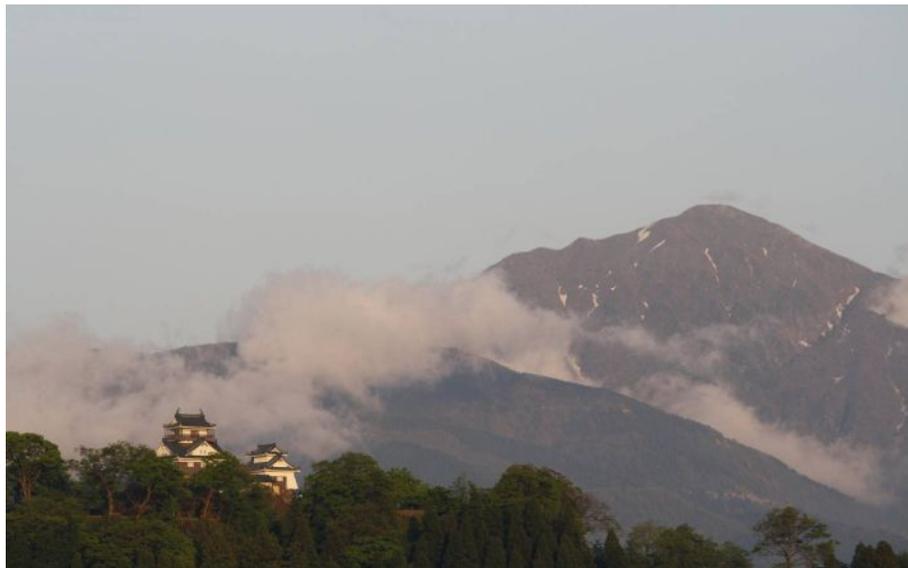
義景清水④



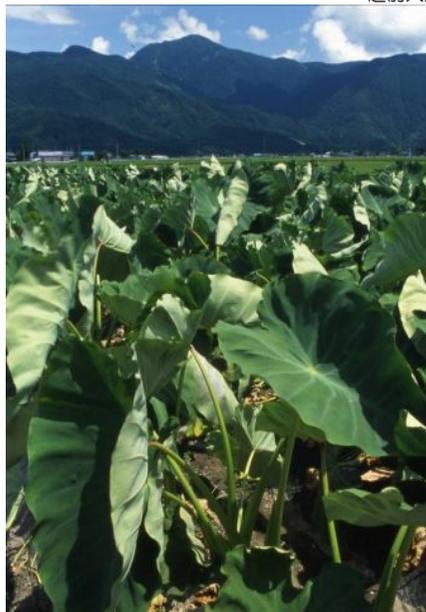
日本百名山 あらしまだけ 荒島岳

かみしょう
大野市上庄地区周辺

見る角度によって姿が変わるという荒島岳、その雄大な姿は里芋の産地上庄地区から仰ぎ見るのがよい。荒島岳も里芋も絶品だ。



越前大野城と荒島岳^①



ふもとに広がる里芋畑^②

大野盆地の南東にそびえる荒島岳（標高1,523m）は、その姿形が美しく、日本百名山に選ばれています。「大野富士」とも呼ばれるこの山は、古くから信仰の山としてあがめられるとともに、人を簡単に寄せ付けない神秘的霊山として恐れられ、山頂には祠が祭られています。大野市街地や勝山方面から見る美しい姿は、奥越の自然風景の中でも格別なものです。



勝山橋から見る荒島岳^③



里芋掘りの作業風景^④



夜明けの荒島岳^⑤



コスモス畑と荒島岳^⑥

荒島岳のふもとには、里芋畑が広がり、9月下旬ごろになると、里芋の茎と葉がいちだんと大きくなり、人の背丈ぐらいになります。大野市で採れるこの里芋は福井を代表する伝統野菜で、もちもちとした独特の食感と風味が評判となっています。



芋車の風景^⑦



写真①～②、④～⑦は大野市、③は勝山市提供



越美国境からの清らかな流れ 真名川

大野市五条方など

越美国境の能郷白山に源を発す真名川。山々を縫うように流れる水と深い森が織り成す自然美は静寂の中、訪れた人々を優しく迎えてくれる。



真名峡

真名峡は、大野市の真名川上流域、五条方発電所の約1km上流から真名川ダム付近にかけて発達する深い峡谷で、県内屈指の景勝地です。谷の両壁は急斜面をなし、谷底が

著しく深いため、水面の深青色が斜面の森林の緑とあいまって、美しい自然景観を形成しています。

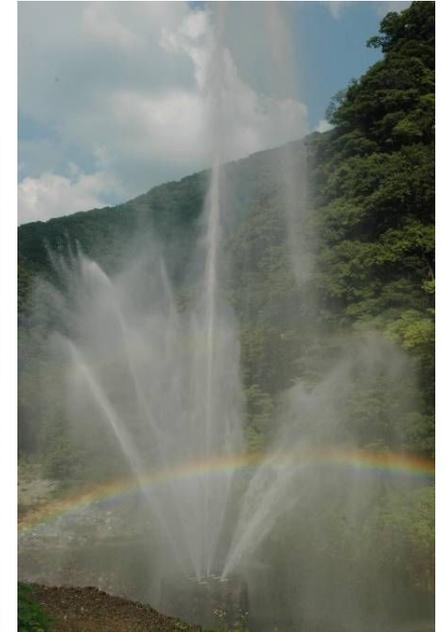
ダム湖である麻那姫湖の上流には、麻那姫青少年旅行村があります。この旅行村は、かつて水害で離村した西谷村の中心、中島集落の跡にできたものです。四季折々の景観が楽しく、夏は、芝生と周辺の緑が特に美しく、またキャンプ場では、子供たちが川遊びをするなど、賑わいのある風景を見ることができます。



真名川での川遊び（麻那姫湖青少年旅行村）



真名川ダム



真名川ダムの噴水

真名川ダム下流には、ダム湖からの水圧で作動する噴水が見られ、清涼感を醸し出しています。



平家平

真名川の上流には、約1万本ものブナが生い茂る森平家平があります。樹齢400年以上のトチノキの巨木やミスバショウの群落なども点在しています。

ブナやミスナラなどの広葉樹林は自然のダムの役割を持ち、地下水の源になっています。



樹齢400年以上の大トチノキ（市天然記念物）





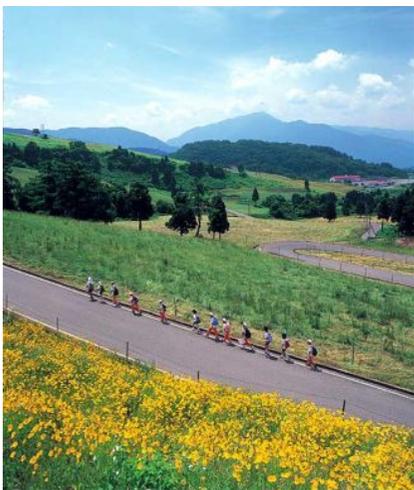
日本一の星空を仰ぐ ろくろし 六呂師高原

大野市南六呂師ほか

大野が日本で一番星の観察に適している場所だということを六呂師高原で実感する。夜は満天の星を、昼は妻平湿原の草花を観察、高原の澄み切った風は日常を忘れさせる。



ろくろし 六呂師高原の星空



ろくろし 六呂師高原

六呂師高原は、大野市北東部、勝山市との境にあるきょうがたけ経ヶ岳（標高 1,625m）のふもとに広がる標高 520~850m の高原状の溶岩台地で、全国の星空の街コンテストで星の美しい街に選ばれました。「星のふる里」をテーマにプラネタリウムを備えた自然保護センター、観察棟などの施設を整え、自然科学に親しむ場としても注目を集めています。

六呂師高原内にあるつまだいら妻平湿原は、県内でも数少ない貴重な湿原の一つです。谷川の水や湧き水で1年中潤い、特有の生物が生息しています。周辺を散歩しながら四季折々の花や水辺の動物たちを見ることができます。

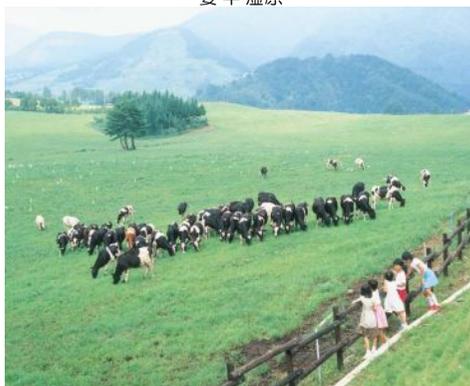


六呂師高原全景



つまだいら 妻平湿原

奥越高原県立自然公園内にあるこの高原には、面積 270ha の奥越高原牧場があり、4月から10月にかけては、広大な牧草地に牛が放牧されていて牧歌的な風景を見ることができます。また、奥越高原牧場のほか、六呂師高原スキー場、奥越青少年自然の家などの施設が整い、四季折々のアウトドアライフが楽しめ、六呂師国民休養地として県内外から多くの人々で賑わっています。



六呂師高原牧場





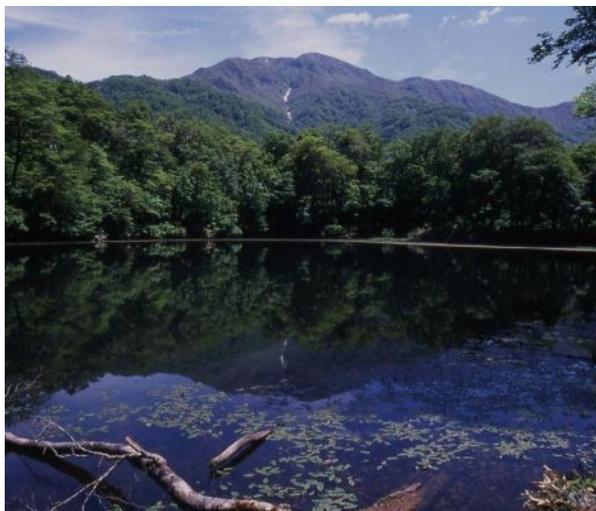
紅葉の刈込池に映る白雪の三ノ峰

大野市上小池周辺

打波川上流へと向かう。途中、一軒宿の鳩ヶ湯温泉を過ぎると人の気配が消える。ここから刈込池までは山の神の道案内、何度歩いても新鮮で心が躍る。



紅葉の刈込池と冠雪の三ノ峰



深緑の刈込池①

打波川の上流の願教寺山（標高 1,690m）のふもとには、ブナやミズナラなどの原生林に囲まれた刈込池（周囲 400m、水深最大 4.5m）があります。

紅葉の季節には、鮮やかに色づいたブナやモミジが水面に映り、神秘的な光景を見ることができます。刈込池はその昔、泰澄大師が白山開山の際に千匹の大蛇を刈り込んだという伝説が名称の由来とされています。



白山神社の大カツラ（県天然記念物）（大野市上打波）



鳩ヶ湯温泉②（大野市上打波）

鳩ヶ湯温泉は、白山国立公園の中に位置し、九頭竜川の支流 打波川の渓流沿いに建つ一軒宿です。ここから、正面にある白山連峰の三ノ峰（標高 2,128m）、別山（標高 2,399m）の眺望を楽しむことができます。また、刈込池、赤兎山（標高 1,629m）などへのハイキングコースの基点として知られています。赤兎山は、夏山登山の山として人気が高く、6月下旬から7月上旬にかけてニッコウキスゲ・ササユリなどが一斉に咲き競い、多彩な花畑を楽しむことができます。

打波川沿いにある白山神社には樹齢 1200 年以上の大カツラの木が立っています。霊峰白山を開いた泰澄大師が、この地に宿泊した時に食事に使った箸をこの地に刺したところ、それが根づいて巨木になったという伝承があります。



赤兎山③





くずりゅうこ 鮮やかな四季の移ろい 九頭竜湖

いずみ
大野市和泉地区周辺

柿ヶ島駅から越美北線は九頭竜川に沿って走る。深く削られた溪谷、岩を噛む激流に目を奪われていると勝原駅に…、ハナモモの木が旅人の目に優しく映る。



冬の九頭竜湖①

豊かな自然に恵まれた九頭竜湖は、春の桜、秋の紅葉、冬の雪景色など、四季折々の美しさがあり、その雄大な姿はいつ見ても絶景です。九頭竜湖に架かる箱ヶ瀬橋は夢のかけ橋とも称されており、豪快な山岳風景と広大なダム湖に優雅に溶け込んでいます。



紅葉の九頭竜湖



紅葉まつり②



くずりゅうこ 九頭竜峡 (柿ヶ島～勝原駅間)③

秋には、九頭竜国民休養地で紅葉まつりが行われます。ステージイベントでの郷土芸能披露や大野市で採れた新鮮な野菜や特産品、秋の味覚の販売などで賑わいます。

大野市下山から柿ヶ島までは、「九頭竜峡」と呼ばれる景勝の地で、荒島岳山麓の「勝原



くずりゅうこ 九頭竜峡 (勝原園地)

閃緑岩」が激流に浸食され深い溪谷となっており、紅葉の季節には、鮮やかに峡谷を彩ります。

また、九頭竜峡の春を彩るものに勝原駅のハナモモがあります。線路脇の土手を中心に春にはピンク、白のあざやかな花が咲き乱れ、「桃源郷」とも呼ばれていて、年々、植樹活動の輪が広がっています。



勝原駅のハナモモ④





らっきょうの花咲く さんりばま 三里浜

福井市白方町、坂井市三国町米納津など

三里浜でらっきょう栽培が始まったのは砂が飛び散らないようにとの思いからだだったという。今では砂丘地を覆い隠すように赤紫色の可憐ならっきょうの花が咲く。



赤紫色に咲き誇るらっきょう畑^①

三里浜砂丘は、福井市と坂井市三国町にまたがる砂浜海岸で、くずりゅうがわによって運ばれた砂が、沿岸流によって堆積してできたものです。また、この砂丘地では、らっきょうの生産が盛んで、10月下旬から11月中旬になると、鮮やかな赤紫色のらっきょうの花が一面に咲き誇り、この地の風物詩となっており、秋の砂丘地に彩を添えます。



広大な三里浜砂丘



三里浜に実るスイカ

三里浜の特産品「三年子」らっきょうは、日本で唯一足かけ3年をかけて栽培され、1年ごとに収穫される他県のらっきょうよりも粒が小さく、その分、実が締まっています。歯切れが良いのが特長です。

この他にも、スイカや大根、メロンに越のルビーなど、砂と太陽の恵みを受けた農産物が収穫され、年間を通して季節の風を感じさせます。



大根畑



らっきょう掘り^②



「三年子」らっきょう





福井ゆかりの武将を偲ぶ墓所

福井市^{たのたに}田ノ谷町^{ほか}

荘厳な佇まいと大きな墓石に圧倒される千畳敷。福井藩の歴代藩主の廟所は喧噪とは無縁な静かな山中で歴史を刻んでいる。



松平家歴代藩主の廟所 大安禅寺「千畳敷」(国重文)(福井市田ノ谷町)



柴田勝家の菩提寺 西光寺(福井市左内町)

県内では、数多くの武将を偲ぶ墓所や廟所がある風景を見ることができます。福井市^{たのたに}田ノ谷町にある大安禅寺には、「千畳敷」と呼ばれる壮大な廟所があります。松平家歴代藩主やその家臣などの墓石が整然と立ち並んでいます。「千畳敷」に敷き詰められている石は1360枚にのぼり、墓塔、敷石、廟所を囲む柵、門扉にいたるまで、足羽山で採掘された^{しゆくだに}笏谷石が用いられています。



武将 新田義貞ゆかり藤島神社



高岳寺(丸岡藩主有馬家の菩提寺)①



本光院(丸岡藩主本多家の菩提寺)②

また、足羽山の北側のふもとには、柴田勝家の菩提寺である西光寺があります。戦国時代の悲劇のヒロインお市の方と夫勝家の墓がひっそりと据えられています。

西光寺から西南の方向にある足羽山には藤島神社があります。この神社には、南北朝時代に活躍した武将 新田義貞のゆかりの品が納められています。

また、坂井市にも藩主の墓が整然と立ち並び風景を見ることができます。

高岳寺や本光院には、丸岡藩主の墓所があり、大きな五輪の塔が数多く並び、荘厳なたたずまいを醸し出しています。

